

創立30周年記念式は58年10月(予定)

昭和二十九年度、青森市町会連合会を結成して、岡本喜作氏が初代会長として就任以来、五十八年度は創立三十周年を迎えることになる。記念事業の計画については未だ決定したものはないが、大筋のところ

- 一般からの寄付や広告料など受けない。
- 必要経費は、五十六年度より計画的に幹旋品会計より積立てる。
- 会場は新設の新市民会館使用の予定

まだ経費の算定はできないが、二百万位は必要と思われる。五十七年度、五十八年度にわたり当会幹旋のポリ袋薬品については、事情ご諒察の上、今迄以上に格段のご協力をお願いします。

57年度の表彰町会長候補者

(五年勤続)

須藤五郎・横浜常蔵・前田広造・石岡喜久雄・阿部礼二郎・肴倉謙一・葛西治夫・加藤光三・荒関治美・太田豊美・千葉己次郎・有馬定範・加藤正利・柿崎藤夫・倉内邦一・原田一紀・千島信太郎・沢田悠司・大平喜代吉・成田 東・葛西一美・鹿内誠一郎。(以上二十二名)

(十年勤続)

上田達雄・高橋喜作・杉浦清志・阿保幸雄・神山貞光・船橋豊美・川口留吉・石塚藤雄・川越利作・尾形止次夫・山田幹二・川村敏行。(以上十二名)

年末年始の交通安全運動

師走の十七日、事故防止をねがって交通安全全部会では市内の繁華街でチラシを配布。当日の出動部員は岩谷会長黒田部長をはじめ、島谷哲爾、穂元清治、古村清蔵、佐藤長太郎、高坂重蔵、船橋豊美の七名。寒風の中毎度のことながらご苦労さんでした。

部長会 1/5

主案件

- 各部署年度計画と調整
- 町会連合会の事業のPR (町民対象)
- ゴミ収集の優良町会表彰について
- 町会配布物の調整 (町連を経由させる)
- 原水禁署名運動について
- 電気料補助最低60%促進陳情について
- その他

| | |
|---|---|
| 町 | 伸 |
| 連 | 言 |

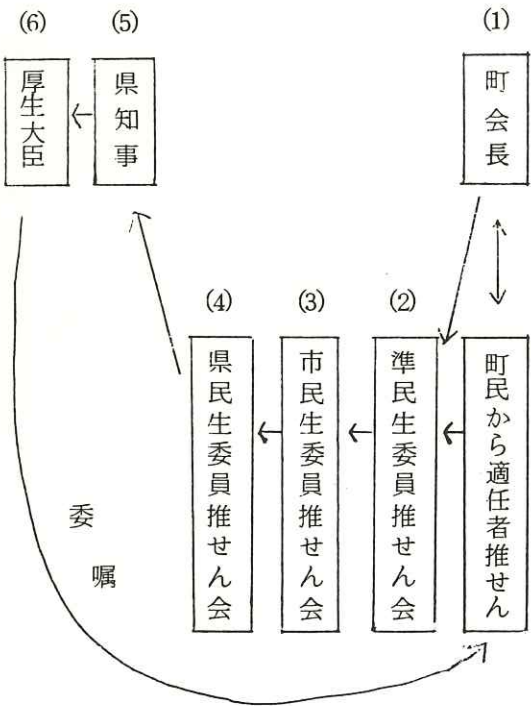
民生委員の職務と選ばれ方

(一) 職務

民生委員の職務は、社会奉仕の精神をもって

要保護者の保護指導と関係行政機関の業務に協力生活状態の常時調査とする。(民生委員法第一、第一四条)

(二) 選ばれ方



右構図の(1)(2)の段階は民生委員法には定めがない。町会長で民生委員を兼任している場合もあるが、兼任していけないという法律もない。ただ最初の重要なチェック機関だけに、常識的には好ましくない。兼任を避けている都市もある。然し町民に適任者がいないので兼任者も相当数あるのが現状である。

57年度街灯電気料補助

来年度の街灯電気料補助額は現在のところ電気料の値上げがなさそうだから、56年度と同じ率を予算に見込んでおいてください。つまり

総電灯の灯数×2.514円＝補助金額

但し、支払い電気料(年額)の五〇%未満の場合は五〇%まで。(市へは六〇%にアップするようお願いしている。)

○当会監事工藤四郎吉退任

大福町々会長工藤四郎吉は、十二月一日付町会長を辞任したがって当会監事も退任することになった。



○ゆさぶりも大きく風の金太郎(かつお)